

森下仁丹、化粧品の新会社

来春にヘアケア製品投入

森下仁丹は化粧品事業の本格展開に乗り出す。

11月下旬をメドに新会社を設立し、30〜40歳代の女性向け化粧水など基礎化粧品を開発する。来春にはシャンプーなどヘアケア製品も投入。通信販売だけだった販路は雑貨専門店など小売店に広げる。これまで化粧品は通販で自社の健康食品の顧客を中心に販売してきたが、専門子会社に事業を委ねることで新規顧客を開拓する。

新設する化粧品の子会社「エムジェイラボ」の

本社は東京都内に置く。資本金は2千万円で森下仁丹の全額出資。新会社は独自にスキンケア製品

やヘアケア製品を開発するほか、広告宣伝や販売活動を担う。

森下仁丹は健康食品の

「ビフィーナ」の通販が主力事業の一つ。2000年から通販で化粧品も取り扱ってきたが、購入は健康食品の顧客にとどまり、化粧品売上高は約2億円（11年3月期）と伸び悩んでいた。

一方でロート製薬や富士フィルムなどの化粧品は医薬品開発で培った技術を応用した機能性の高さが女性から支持され、市場が拡大している。森下仁丹も新会社設立で機動的な商品開発・販売体制を整え、潜在需要を開拓。3年後の化粧品事業の売上高を10億円前後に引き上げる。

日経産業新聞

2011.11.16 掲載